

県図なう。

令和4年6月15日
第135号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

鹿児島県立図書館

ホットニュース

第1回貴重資料紹介展「琉球と薩摩」

【琉球と薩摩】をテーマに、令和4年度第1回県立図書館貴重資料紹介展を開催します。

今回の展示内容は「琉球・薩摩と幕藩体制」や「琉球使節の江戸上り」、「琉球・薩摩の文化」の関連資料です。

また、併せて志学館大学の原口泉教授を講師に特別講演会も実施します。多くの方の御来場をお待ちしています。



(琉球人行粧之図)

【貴重資料紹介展】

期間：令和4年7月21日(木)～9月8日(木)

会場：県立図書館1階正面玄関ロビー

【かごしまの歴史文化講演会】

日時：令和4年9月3日(土)13:30～15:25

会場：県立図書館1階大研修室

申込方法：①申込用紙をカウンターに提出又はFAX送信
②電話による申込み

申込期間：令和4年8月16日(火)9時から定員に達するまで。

定員：100人程度+別室視聴30人

図書館で探そう、調べよう!

昔の雑誌に掲載された論文を読みたい

雑誌『南島史学』12号(南島史学会編)をお探しの方が調査相談カウンターにいらっしゃいました。早速、当館の所蔵資料を検索しましたが、残念ながら当館では当該資料を所蔵しておりません。県立奄美図書館には所蔵があるのですが、持ち出しができない資料であるために、取り寄せをすることができません。

何か他に、資料を提供する方法はないだろうか。そんなときに頼りになるのが、「国立国会図書館デジタルコレクション」です。「国立国会図書館デジタルコレクション」とは、「国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービス」です。著作権の保護期間が満了した資料や、絶版などの理由で入手が困難な資料の本文を閲覧することができます。

『南島史学』を検索してみると、第12号は「図書館・個人送信資料」の範囲で公開されており、当館の専用端末はもちろん、国立国会図書館の登録利用者であれば、自宅のパソコン等からも、本文を閲覧することができるようになりました。

実は、この資料、以前はサービスに参加している図書館へ来館しなければ、本文を閲覧することができませんでした。しかし、先日、個人送信サービスが開始され、登録利用者は自宅等で本文を閲覧できるようになりました。個人送信の対象となった資料は、なんと約153万点です。皆様がお探しの資料も、この中に含まれているかもしれません。当館の資料だけではたどり着けない情報をお探しのときには、この便利なサービスを活用してみたいはいかがでしょうか。

《一般図書》6月15日(水) **新着図書案内** 《児童図書》6月23日(木)

- 『四角六面』 エルノー・ルービック/著、久保陽子/訳 光文社
- 『政治学者、PTA会長になる』 岡田 憲治/著 毎日新聞出版
- 『サ道』 タナカ カツキ/著 パルコエンタテインメント事業部
- 『部屋を片づけたら人生のミラーボールが輝きだした。』 平野 ノラ/著 KADOKAWA
- 『漢字の語源図鑑』 平山 三男/著、和全/絵 かんき出版

- 『わたしはいいこ?』 えがしら みちこ/作 小学館
- 『草のふえをならしたら』 林原 玉枝/作、竹上 妙/画 福音館書店
- 『病院図書館の青と空』 令文 ヒロ子/著 講談社
- 『リメイク!』 あさだ りん/作、いつか/絵 フレーベル館
- 『空を見上げてわかること』 齊田 季実治/著 PHP研究所

催し物の御案内

親子読書研修会のご案内

「親子読書のあゆみ」～未来へつなぐ「宝本」～

今年度も親子読書の進め方や親子読書活動の在り方等についての研修会を開催します。鹿児島市立吉野小学校親子読書会と鹿屋市立申良小学校「こころのしずく」の実践発表、そして、

絵本作家:村上しいに先生の講演

を計画しています。県立図書館ホームページや右上のQRコードなどからの申込みにより参加することができますので、6月21日(火)までにお申込みください。

【日時】 令和4年7月3日(日)13:00～16:00

【会場】 鹿児島県立図書館(1階大研修室+別室)

※ オンラインによる参加も可能です。詳しくは、県立図書館奉仕課 企画指導係(099-224-9514)までお問い合わせください。



※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

図書館職員のつぶやき

新年度が始まって早2か月を過ぎようとしています。新年度は緊張の連続で夢中で過ごした日々も、少々疲れが出てくることでしょう。いわゆる「五月病」の季節です。私を含めて多くの方々は、ずっと走り続けることは、なかなか大変なことです。人は前だけ見ていると進んできた軌跡が真っ直ぐなのか左右どちらに曲がっているのか気付かない場合があります。

ここでちょっと立ち止まってみて、心に「読書」という栄養を摂ってみてはいかがでしょうか。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、アンデルセン/作・平田 昭吾/文・高橋 信也/絵の『にんぎょひめ』(ポプラ社)です。

年中さん頃からこのお話が大好きだった娘。何度も何度も繰り返し読むだけでは満足せず、版の違うものや出版社の違う絵本をほしがり、家には計4冊の「にんぎょひめ」が。全て1ページ1ページ読み比べ、少しずつ違う描写の仕方やセリフ、結末の内容など「ママ見て見て!」と事細やかに教えてくれました。本当にちょっとずつ違っていて、有名なお話ですが、娘のおかげで新しい発見がたくさん!アンデルセンの生まれたデンマークのことまで詳しくなり、母の世界も広がりました。1つのことに目をキラキラさせながら、夢中になっていた娘の姿はまぶしく、私達親子にとっての宝本です。



図書館クイズ

えほん『アマミホシゾラフグ』
江口 絵理/ぶん 大方 洋二/しゃしん
友永 たる/え(ぼるぶ出版)からのクイズです。

- アマミホシゾラフグのもようは
なにに そっくり?
①よぞらにきらめくほし
②マングローブのもり
③あまみのしま

ヒント
きらきら

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、7月14日(木)までに入れてください。

正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「①うさぎ」でした。

たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
6月	12	13	14	15★	16	17	18◆
	19	20	21	22★	23	24	25
	26	27	28	29★	30	1	2
7月	3	4	5	6★	7	8	9
	10	11	12	13★	14	15	16◆
	17	18	19	20★	21	22	23

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時
日曜日・祝日(白抜):9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆ は、土曜日おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(6月30日、7月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(6月23日、7月22日予定)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。